VivoPCベアボーン

ユーザーマニュアル

J9627
初版
2014年8月

もくじ

このマニュアルについて 5
このマニュアルの表記について 5
表記 5
パッケージの内容 6

1. 製品の概要

各部の名称と機能 8
フロントパネル 8
左側 9
バックパネル 10

2. システムのコンポーネントを取り付ける

メモリーを取り付ける 14
ストレージデバイスを取り付ける 19
2.5インチHDD/SSDを取り付ける 19
3.5インチHDDを取り付ける 26

3. VivoPCを使用する

使用の手引き 32
電源アダプターを接続する 32
ディスプレイを接続する 34
USBキーボードとマウスを接続する 35
電源をオンにする 36
電源をオフにする (Windows® 8.1の場合) 36
スリープ状態にする (Windows® 8.1の場合) 37
UEFI BIOS Utilityを起動する 37
UEFI BIOSへのクイックアクセス 38
Windows® OSの導入について 38

4. RAID機能を利用する(特定モデルのみ)

RAID設定 40
RAID定義 40
SATA記憶装置を取り付ける 41
UEFI BIOSでRAIDを設定する 41
Intel® Rapid Storage Technology Option ROMユーティリティ ... 42

付録

安全上の注意 48
システムをセットアップする 48
使用中のお手入れ 48
ご注意 50
ASUSコンタクトインフォメーション 56

このマニュアルについて

このマニュアルには本機のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています。

Chapter 1: VivoPCの概要
本機のハードウェアについての説明が記載されています。

Chapter 2: システムのコンポーネントを取り付ける
新しいコンポーネントの取り付けに関する説明が記載されています。

Chapter 3: VivoPCを使用する
本機の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 4: RAID機能を利用する（特定モデルのみ）
RAID機能の使用方法についての説明が記載されています。

付録
製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要: 作業を完了するために従わなければならない指示です。

注: 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告: 作業を完了する際、人体への危険を避けるため、また本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない指示です。

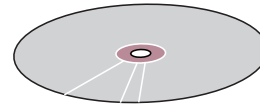
表記

太字	選択するメニューや項目を表示します。
<>	操作のために押す、キーボード上のキーです。

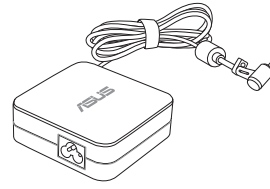
パッケージの内容

製品パッケージに以下のものが揃っていることをご確認ください。

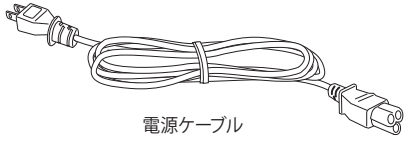
VivoPCベアボーン



ドライバーDVD



ACアダプター



電源ケーブル

ネジ×8

取扱説明書

注:

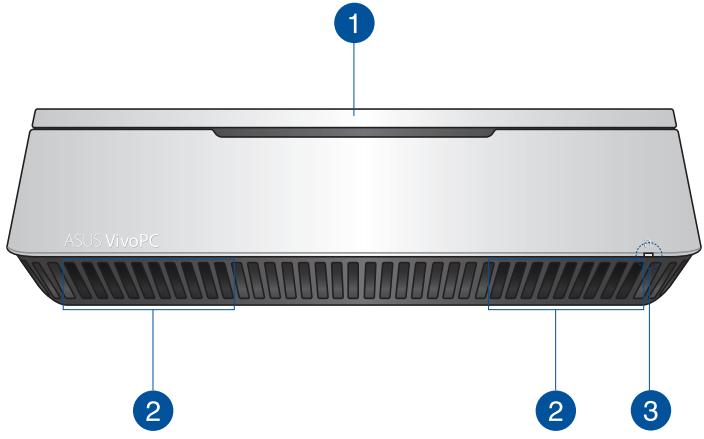
- 実際の製品仕様とパッケージの内容は国または地域およびモデルにより異なります。
- 国や地域、モデルにより、パッケージの内容が異なる場合があります。

1

製品の概要

各部の名称と機能

フロントパネル



1 トップカバー

ストレージデバイスとメモリー用の着脱式トップカバーです。

> **重要:** トップカバーを取り外す際は、事前に本機の電源をオフにし、電源ケーブルと周辺機器を取り外してください。

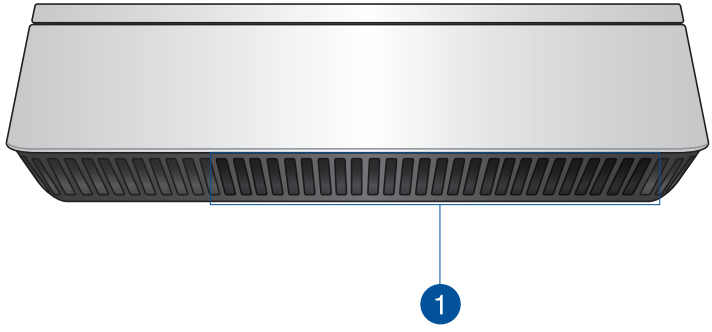
2 オーディオスピーカー

本機の内蔵スピーカーははSonicMasterテクノロジーを採用しており、豊かなバス音のHi-Fi サウンドをお楽しみいただけます。

3 ドライブアクティビティインジケーター

本機が内部記憶装置にアクセスしているときに点灯します。

左側



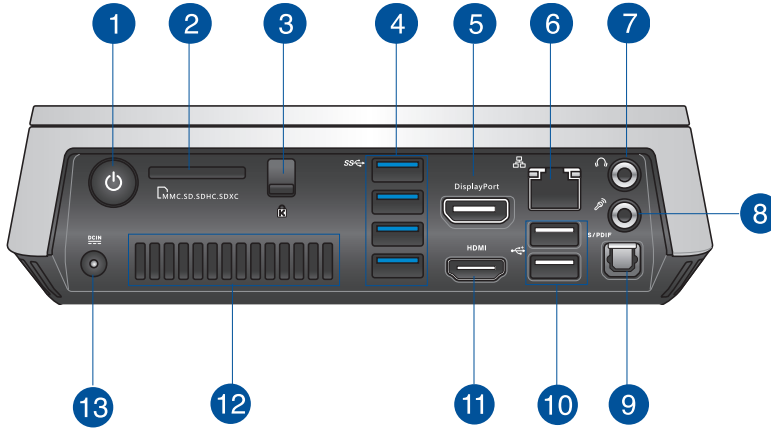
1

通気孔

通気孔により本体から熱を逃がします。

重要: 通気口からは高温の空気が排気されます。故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルなどを密接し塞がないようにしてください。

バックパネル



1 電源ボタン

本機の電源のオン/オフを切り替えます。また、設定により本機をスリープ/休止状態/シャットダウンに移行することができます。復帰するにはもう1度電源ボタンを押します。

2 メモリーカードスロット

内蔵のカードスロットはMMC/SDカードをサポートしています。

3 トップカバーロックラッチ＋Kensington® ロックスロット

トップカバーロックラッチにより、本機にトップカバーを固定します。

Kensington® 互換セキュリティ製品と併用して、本機を固定することができます。

4 USB 3.0ポート

5Gbit/sのデータ転送速度を提供し、USB2.0との下位互換性があります。

5 DisplayPort **DisplayPortポート**

DisplayPort対応ディスプレイまたは別売の変換アダプターを利用してVGA/DVI/HDMI 外付けディスプレイを接続します 。

6 **LANポート**

8ピンRJ-45LANポートは標準イーサネットケーブルに対応し、LANに接続することができます。

7 **ヘッドホン/オーディオ出力ジャック**

本機のオーディオ出力信号をアンプやヘッドホンに接続します。

8 **マイクジャック**

マイクを接続します。ビデオ会議や音声ナレーション、録音等にご使用いただけます。

9 S/PDIF **光デジタル(S/PDIF出力ポート**

光デジタルS/PDIFケーブルで外部オーディオ出力デバイスを接続します。

10 SS **USB 2.0ポート**

USB 2.0対応のキーボードやマウス、フラッシュドライブ、外付けHDD、スピーカー、カメラ、プリンター等のデバイスを接続することができます。このポートを使用すれば、複数のデバイスを 1 つのシステムで同時に利用することができます。

11 HDMI **HDMI ポート**

液晶TVやディスプレイやフルHDデバイスをサポートしています。より高画質で大きな画面での映像が楽しめます。

12 バックパネル通気孔

通気孔により本体から熱を逃がします。

> **重要:** 通気口からは高温の空気が排気されます。故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルなどを密接し塞がないようにしてください。

13 DCIN 電源入力 (DC19V)

付属のACアダプターを接続し、本機に電源を供給します。付属のACアダプター以外は使用しないでください。故障の原因となります。

> **警告:** ACアダプターは、使用中高温となることがあります。アダプターを物で覆ったり、また身体に密着させて使用しないでください。

2

システムのコンポーネントを取り付ける

メモリーを取り付ける

本機にはSO-DIMMメモリースロットが2基搭載されており、2GB、4GB、8GBのNon-ECC Unbuffered DDR3 1.35V SO-DIMM (204ピン) メモリーを取り付けることができます。最大システムメモリーは16 GBです。

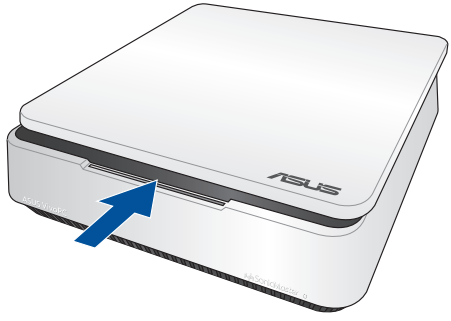
重要: パフォーマンスの理由から、同一の1.35V DDR3 (SO-DIMM) モジュールのみを取り付けてください。

注: 互換性のあるメモリーリストについては、弊社オフィシャルサイト (http://www.asus.com) をご参照ください。

手順

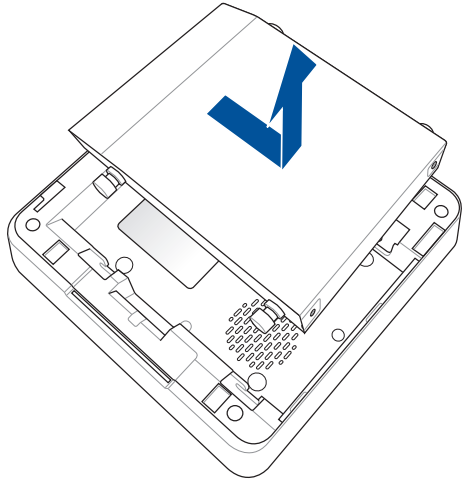
1. 本機の電源をオフにします。
2. 本機に接続された周辺機器およびケーブルを全て取り外します。
3. 本機を安定した平らな面に置きます。
4. バックパネルのラッチを押し下げ、トップカバーを緩めます。

5. トップカバーをバックパネルの方向にスライドし、ケースから取り外します。



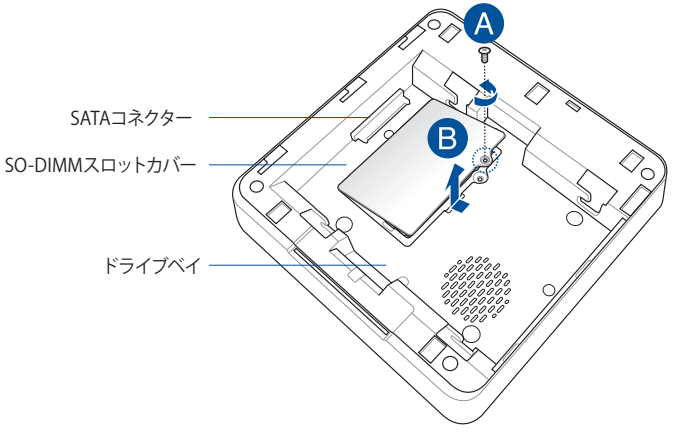
6. トップカバーを脇に置きます。

7. SATAコネクターからVivo DualBayアダプターをスライドさせ、ドライブベイから取り外します。



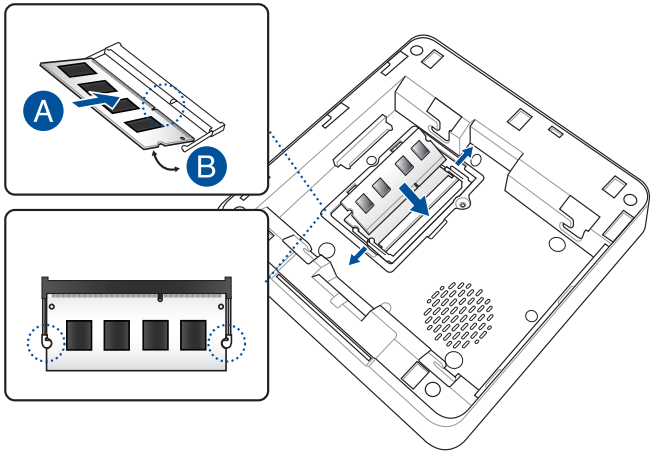
注: 本機には空のVivo DualBayアダプターが同梱されています。Vivo DualBayアダプターを3.5インチHDDと交換したい場合は、「3.5インチHDDを取り付ける」をご参照ください。

8. メモリーを手元に準備します。
9. SO-DIMMスロットカバーを固定しているネジを緩め (A)、スロットカバーを開きます (B)。

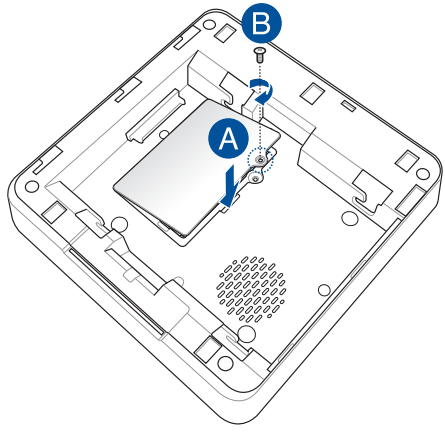


10. 向きを確認しながらメモリーをスロット (A) に挿入し、所定の位置に収まるまで押し下げます (B)。他のメモリーを取り付ける際も、同じ手順で行います。

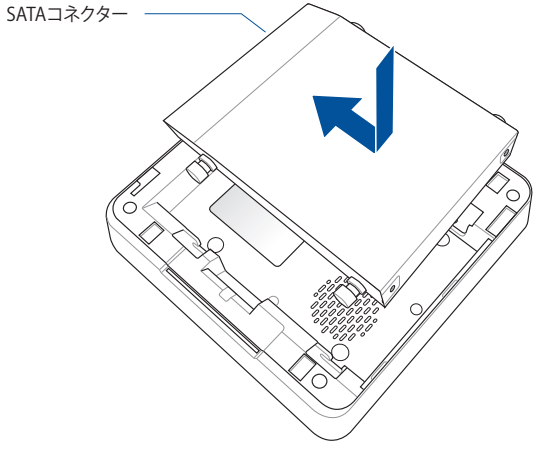
重要: メモリーを取り付ける際は、下側のスロットから使用してください。



11. SO-DIMMスロットカバーを元に戻し (A)、先ほど取り外したネジで固定します (B)。



12. Vivo DualBayアダプターをドライブベイに戻し、SATAコネクターの方向にスライドさせます。



13. トップカバーをフロントパネルの方向にスライドし、ケースに取り付けます。

14. ラッチをロックし、トップカバーをケースに固定します。

ストレージデバイスを取り付ける

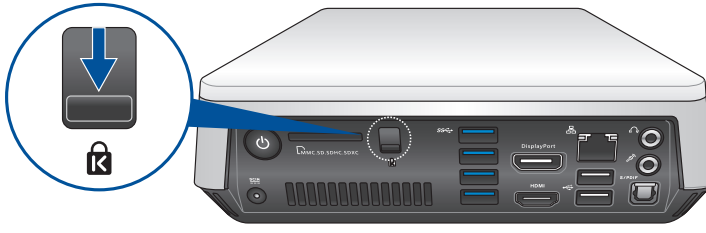
本機には2.5インチHDDまたはSSD (Vivo DualBayアダプターを使用) を2台、または3.5インチHDDを1台取り付けることができます。

2.5インチHDD/SSDを取り付ける

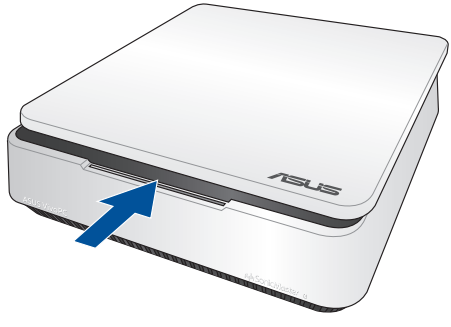
重要: デバイスやコンポーネントの取り付けの際は、事前に本機の電源をオフにし、全てのケーブルと周辺機器を取り外してください。

手順

1. 本機を安定した平らな面に置きます。
2. バックパネルのラッチを押し下げ、トップカバーを緩めます。

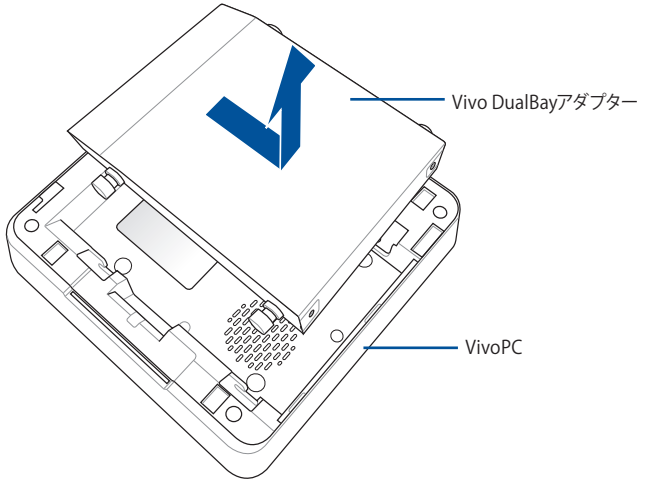


3. トップカバーをバックパネルの方向にスライドし、ケースから取り外します。



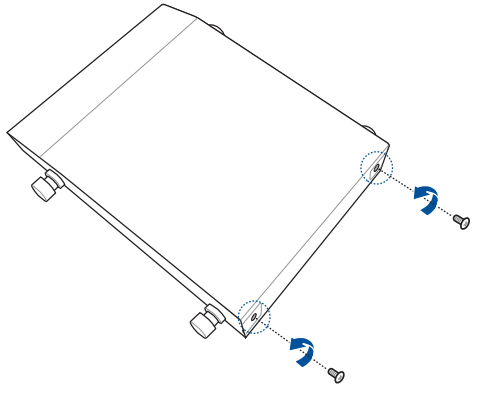
4. トップカバーを脇に置きます。

5. Vivo DualBayアダプターをSATAコネクターの方向から慎重にスライドさせ、ドライブベイから取り外します。

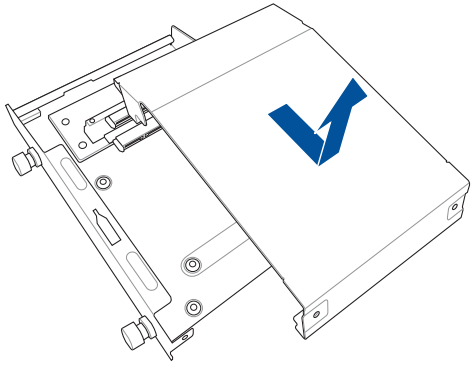


6. Vivo DualBayアダプターを水平で安定した場所に置きます。

7. Vivo DualBayアダプターの背面のネジを取り外します。ネジは紛失しないようにしてください。

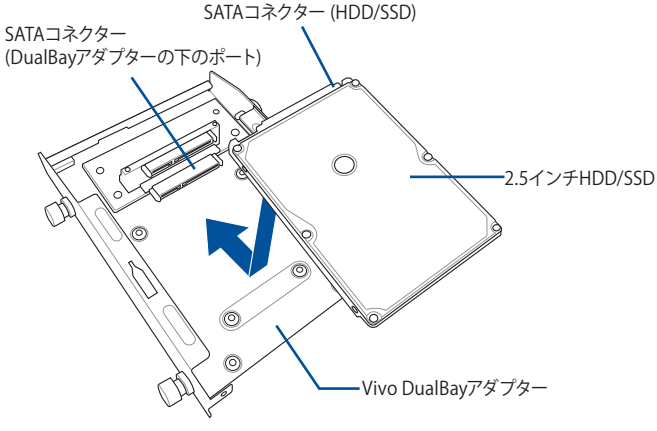


8. 図のように、トップカバーを背面の方向にスライドし取り外します。

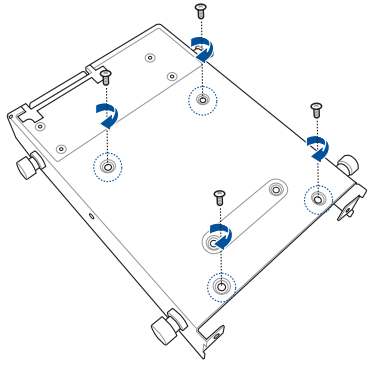


9. 2.5インチHDD/SSDと同梱のネジを手元に用意します。

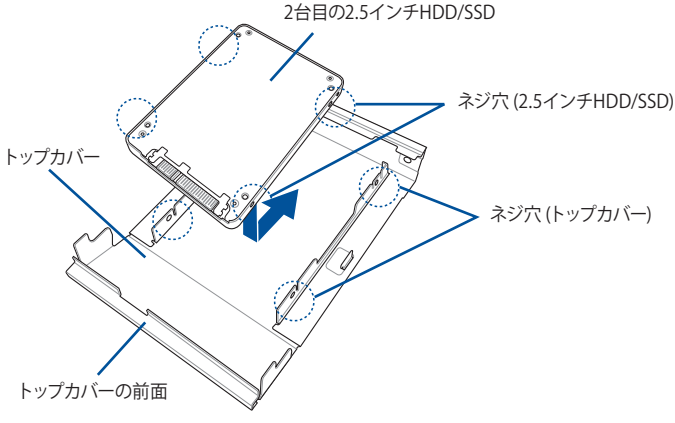
10. 2.5インチHDD/SSDのSATAコネクターとVivo DualBayアダプターの下部にあるSATAコネクターの位置を合わせ、2.5インチHDD/SSDをVivo DualBayアダプターのSATAコネクターにスライドさせます。



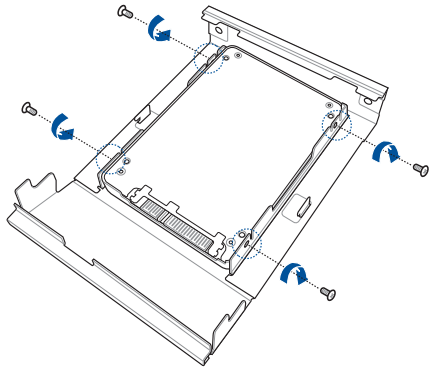
11. Vivo DualBayアダプターの底面にあるネジスロットの位置を確認し、付属のネジで2.5インチHDD/SSDを固定します。



12. Vivo DualBayアダプターのトップカバーを上下逆にして、安定した平らな場所に置きます。
13. もう1台の2.5インチHDD/SSDを上下逆にし、ネジ穴の位置を確認しながらVivo DualBayカバーの上に配置します。

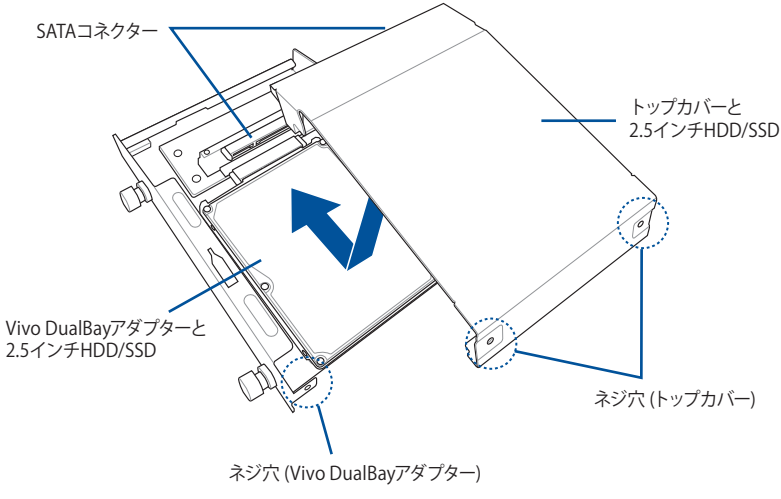


14. 同梱のネジを使用し、トップカバーに2.5インチHDD/SSDを固定します。

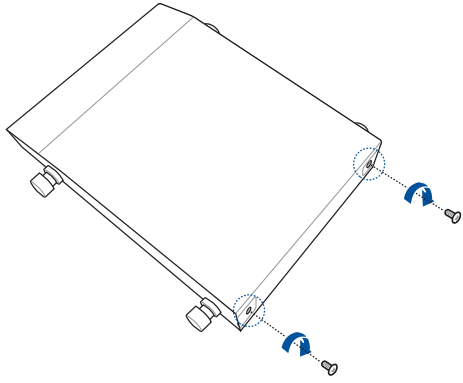


15. トップカバー (HDD/SSDを取り付けたもの) をVivo DualBayアダプターに入れ、SATAコネクターの方向にスライドさせます。

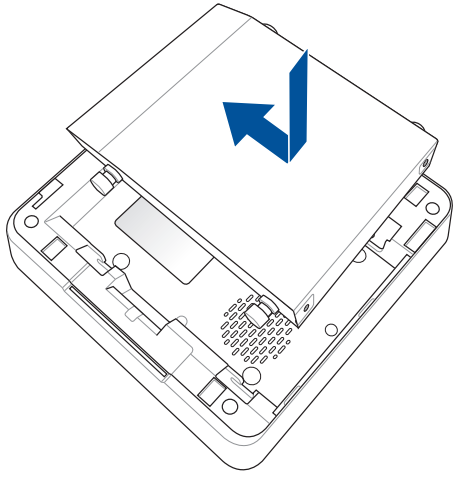
注: トップカバーに取り付けたHDD/SSDのSATAコネクターが、Vivo DualBayアダプターのSATAコネクターの位置に合うよう、またトップカバー背面のネジ穴がアダプターのネジ穴の位置に合うよう配置します。



16. 手順7で取り外したネジで、トップカバー (2.5インチHDD/SSDを取り付けたもの) をVivo DualBayアダプターに固定します。



17. Vivo DualBayアダプターをSATAコネクターの方向にスライドさせ、本機のドライブベイに挿入します。



18. トップカバーをフロントパネルの方向にスライドし、ケースに取り付けます。

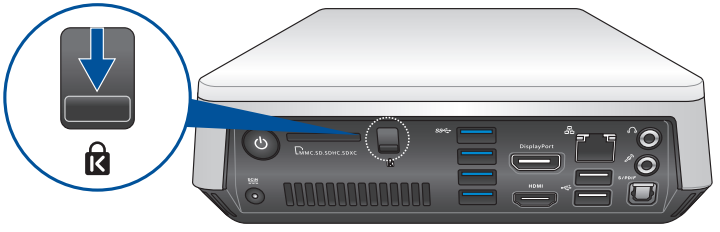
19. ラッチをロックし、トップカバーをケースに固定します。

20. 周辺機器およびケーブルを全て接続します。
21. 本機の電源をオンにします。

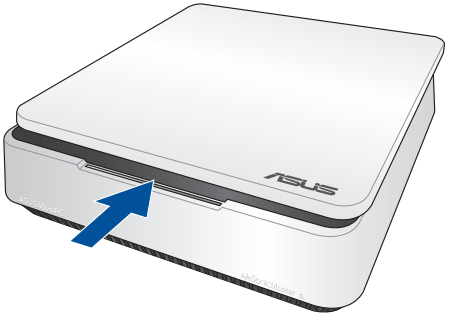
3.5インチHDDを取り付ける

手順

1. 本機を安定した平らな面に置きます。
2. バックパネルのラッチを押し下げ、トップカバーを緩めます。

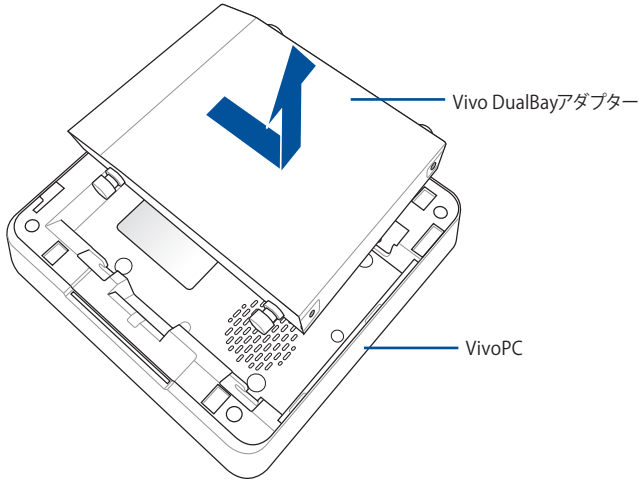


3. トップカバーをバックパネルの方向にスライドし、ケースから取り外します。



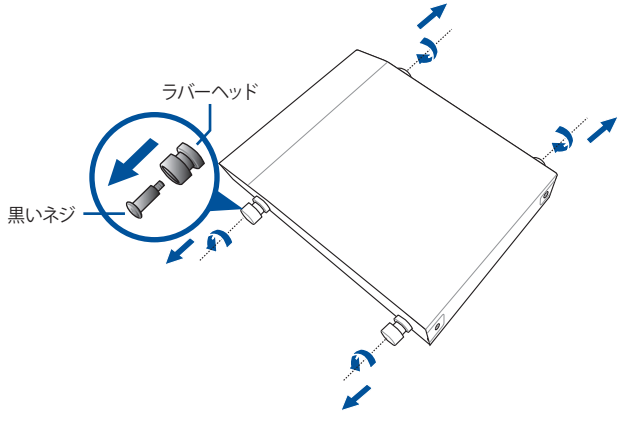
4. トップカバーを脇に置きます。

5. SATAコネクターからVivo DualBayアダプターを外し、ドライブベイから取り外します。



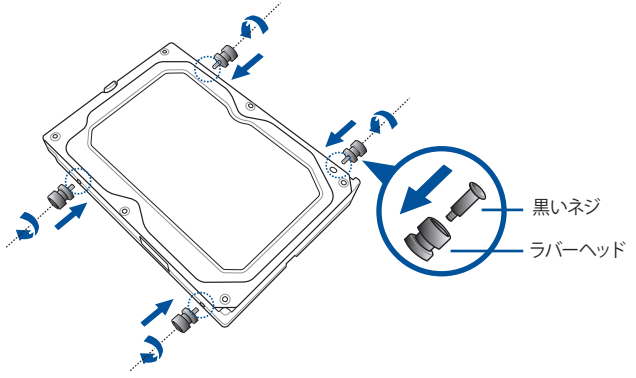
6. Vivo DualBayアダプターから4つのラバーヘッドと黒いネジを取り外します。紛失しないようにしてください。

注: この手順を実行する際は、スクリュードライバーなどの適切なツールを使用してください。

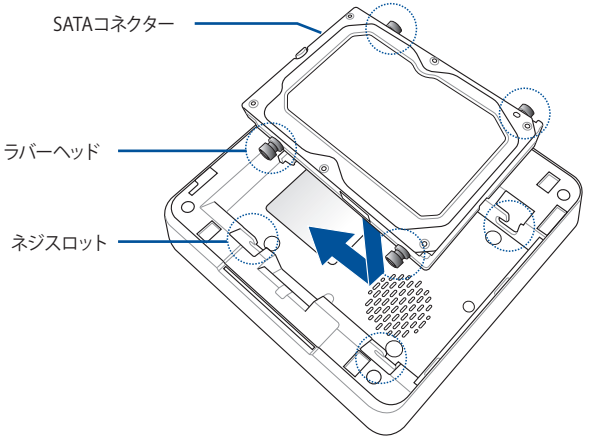


7. 3.5インチHDDを手元に用意します。

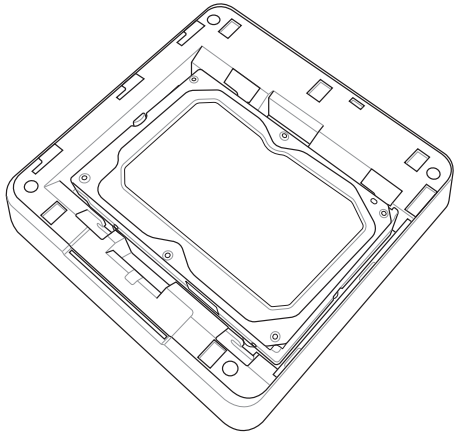
8. 図のように、ラバーヘッドと黒いネジをHDDに取り付けます。



9. HDDのSATAコネクターが本機のドライブベイのSATAコネクターの位置と合うよう、SATA HDDをドライブベイの上面に配置します。
10. ドライブベイのネジスロットとラバーヘッドの位置を合わせます。
11. SATA HDDをSATAコネクターの方向に慎重にスライドさせ、ドライブベイに装着します。

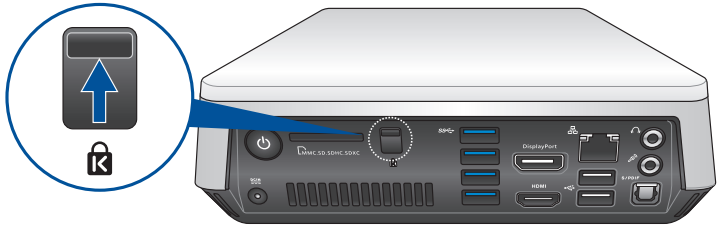


12. SATA HDDが所定の位置に収まっていること、SATAコネクターが正しく接続されていることを確認します。



13. トップカバーをフロントパネルの方向にスライドし、ケースに取り付けます。

14. ラッチをロックし、トップカバーをケースに固定します。



3

VivoPCを使用する

使用の手引き

電源アダプターを接続する

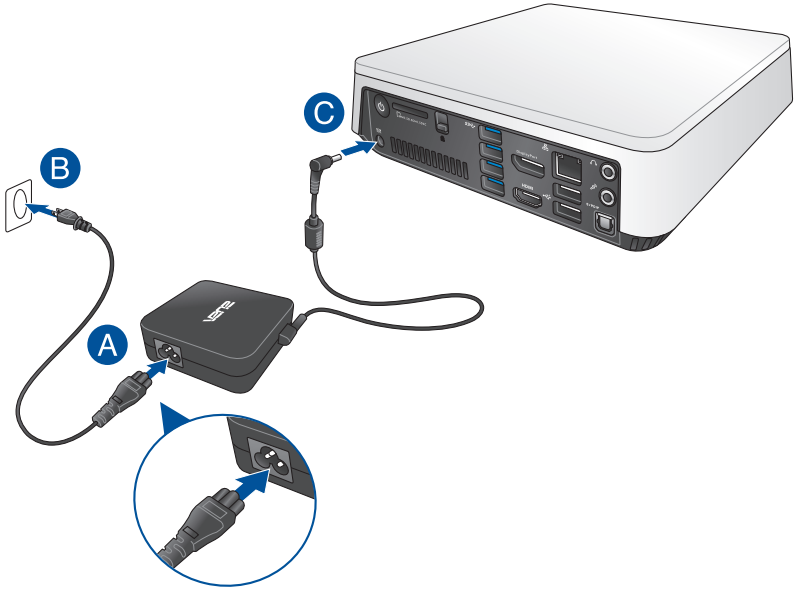
手順

A. ACアダプターのコードをACアダプターに接続します。

B. 電源コードを100V～240Vの電源に接続します。

C. 電源コネクターを本機の電源入力ポートに接続します。

注: 国や地域、モデルにより、電源アダプターの外観は異なります。



重要:

- 本製品付属のACアダプター以外で本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプターと電源コードを他の製品に使用しないでください。故障の原因となります。
- 本機を使用する際は、本機が接地された電源コンセントに接続されていることをご確認ください。
- 本機を電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
- 主電源から本機を切断するには、電源コントセントから本機を切断してください。

注:

ACアダプターについて

- 入力電圧: 100～240 Vac
- 入力周波数: 50Hz～60Hz
- 定格出力電流: 3.42 A (65 W) または4.74 A (90 W) (モデルにより異なる)
- 定格出力電圧: 19V

ディスプレイを接続する

本機にディスプレイパネルまたはプロジェクターを接続することができます。サポートしている接続タイプは次のとおりです。

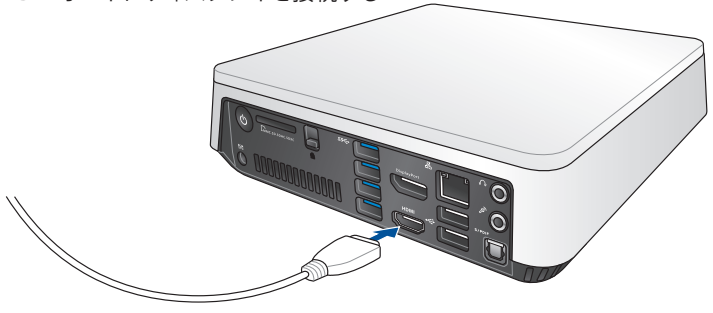
- HDMIコネクター
- DisplayPortコネクター
- VGAコネクター (DisplayPort-VGAアダプター、または HDMI-VGAアダプターと併用)
- DVIコネクター (HDMI-DVIアダプターと併用)

注: HDMI-DVI アダプター、DisplayPort-VGAアダプター、HDMI-VGAアダプターは別途お買い求めください 。

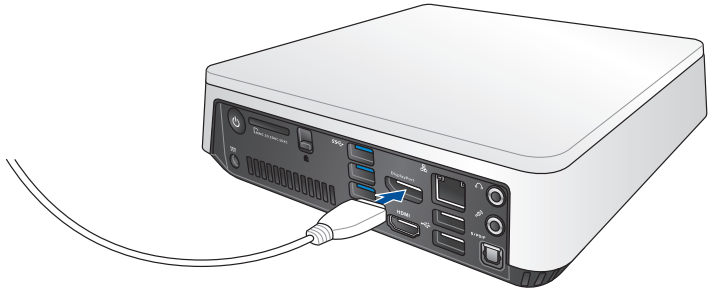
手順

HDMI ポートまたはDiplayPortポートにディスプレイケーブルを接続します。

HDMIポートにディスプレイを接続する



DisplayPortポートにディスプレイを接続する



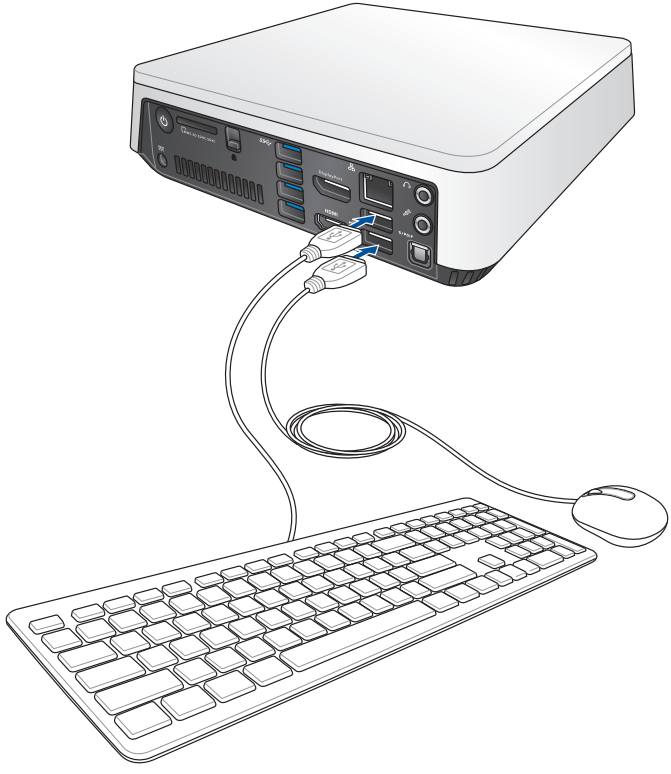
USBキーボードとマウスを接続する

本機にUSBキーボード/マウスを接続することができます。また、ワイヤレスキーボード/マウス用のUSBドングルを接続することもできます。

手順

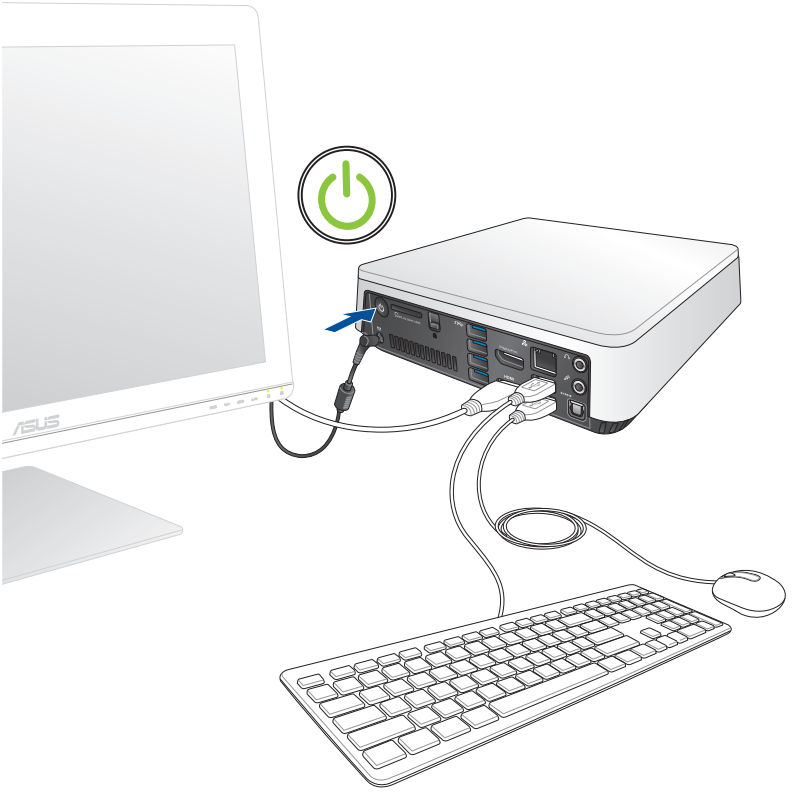
USBキーボード/マウスのケーブルを本機のUSB 2.0ポートに接続します。

USB 2.0ポートにキーボード/マウスを接続する



電源をオンにする

電源ボタンを押し、電源をオンにします。



電源をオフにする (Windows® 8.1の場合)

- スタート画面上の電源ボタンから「**シャットダウン**」をクリックします。
- チャームバーの電源ボタンから「**シャットダウン**」をクリックします。
- デスクトップモード上のスタートボタンを右クリックし、「**シャットダウンまたはサインアウト**」から「**シャットダウン**」をクリックします。
- Windowsの初期設定では、電源ボタンを軽く1回押すと「シャットダウン」が可能です。

システムからの応答がない場合は、電源ボタンを約4秒間押し、強制終了を行います。

> **注:** 強制終了を行うと、アプリケーションで保存していないデータは失われる可能性があります。

スリープ状態にする (Windows® 8.1の場合)

- スタート画面上の電源ボタンから「**スリープ**」をクリックします。
- チャームバーの電源ボタンから「**スリープ**」をクリックします。
- デスクトップモード上のスタートボタンを右クリックし、「**シャットダウンまたはサインアウト**」から「**スリープ**」をクリックします。
- Windowsの設定変更を行えば、電源ボタンの操作で「スリープ」が可能になります。

UEFI BIOS Utilityを起動する

UEFI BIOS Utilityはシステムの起動に必要なハードウェアを制御するプログラムです。

UEFI BIOSのデフォルト設定は通常の使用環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。以下の状況以外では、デフォルト設定のままで使用することをお勧めします。

- システム起動時にエラーメッセージが表示され、UEFI BIOS Utilityを起動するように指示があった場合。
- UEFI BIOSの設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合。

> **警告:** 不適切な設定を行うと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出ることがあります。設定を変更する際は、専門知識を持った技術者のアドバイスを受けることを強くお勧めします。

UEFI BIOSへのクイックアクセス

手順

- 電源ボタンを約4秒間押し電源をオフにします。電源ボタンを押して電源をオンにし、POSTの段階で<F2>または<Del>を押します。

  注: 本操作は、OS導入前の状態状態でのみ実施してください。OS導入後は下記の操作を実施してください。

- システムの電源がオフの状態で、本機から電源コードを抜きます。再び電源コードを本機に接続し、電源ボタンを押して電源をオンにし、POSTの段階で<F2>または<Del>を押します。

  注: POST (Power-On Self Test) はシステム起動時に実行されるシステム自己診断テストです。

Windows® OSの導入について

1) DVDやCD-ROMを用いてWindows® OS導入する場合、別途、USBタイプの光学ドライブが必要となります。

2) Windows® OSを導入する前に、「**UEFI BIOS Utility**」→「**Boot**」を開き、下記の設定変更が必要となる場合があります。

   <Windows® 7 の場合>
   「CSM」→「Launch CSM」= [Enabled]
   「Secure Boot」→「OS Type」= [Other OS]

   < Windows® 8.1 の場合>
   「CSM」→「Launch CSM」= [Disabled]
   「Secure Boot」→「OS Type」= [Windows UEFI mode]

3) 本機はPOST画面でキーボードの<F8>キーを利用して起動デバイスの選択が可能です。この機能により、UEFI BIOSで起動デバイスの優先順位を決定変更しなくても、任意の起動デバイスをPOST画面で選択することができます。

4) Windows® OSの導入後、付属のサポートディスクを利用して必要なドライバーやユーティティーを導入します。最新ドライバーはASUSのWebページで公開されます。

4

RAID機能を利用する（特定モデルのみ）

RAID設定

VivoPCのRAID機能搭載製品では、次のSATA RAIDソリューションをサポートします。

• Intel® Rapid Storage TechnologyによるRAIDアレイ0/1

RAID定義

RAID 0 (データストライピング):
記憶装置に対しパラレル方式でデータを読み/書きします。それぞれの記憶装置の役割はシングルドライブと同じですが、転送率はアレイに参加している台数倍に上り、データへのアクセス速度を向上させます。セットアップには、最低2台の記憶装置 (同じモデル、同容量) が必要です。

RAID 1 (データミラーリング):
1台目のドライブから、2台目のドライブに、同じデータイメージをコピーし保存します。ドライブが1台破損しても、ディスクアレイマネジメントソフトウェアが、アプリケーションを正常なドライブに移動することによって、完全なコピーとして残ります。システム全体のデータプロテクションとフォールト・トレランスを向上させます。セットアップには、最低2台の新しい記憶装置、または、既存のドライブと新しいドライブが必要です。既存のドライブを使う場合、新しいドライブは既存のものと同じサイズかそれ以上である必要があります。

SATA記憶装置を取り付ける

最適なパフォーマンスのため、ディスクアレイを作成する場合は、モデル、容量が同じ記憶装置をご使用ください。

取り付け手順についてはChapter2の「2.5インチHDD/SSDを取り付ける」をご参照ください。

UEFI BIOSでRAIDを設定する

RAIDを作成する前に、UEFI BIOS UtilityでRAIDを設定してください。

1. POST実行中にUEFI BIOS Utilityを起動します。
2. 「**Advanced**」→「**SATA Configuration**」の順に進みます。
3. 「**SATA Mode Selection**」を [**RAID**] に設定します。
4. 「**Boot**」→「**CSM**」の順に進みます。
5. 「**Launch CSM**」を [**Enabled**] に設定します。
6. 設定の変更を保存し、UEFI BIOS Utilityを終了します。

注: チップセットの制限により、SATAポートの動作モードを個別に設定することはできません。

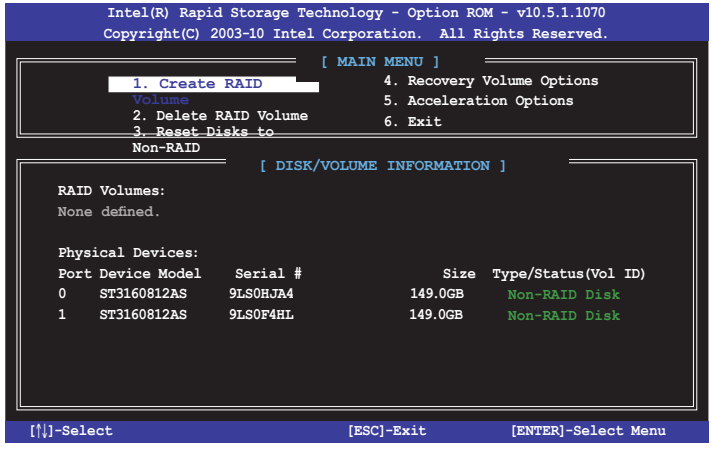
注: 「Launch CSM」= [Enabled] の設定は、<Ctrl + I> でIntel Rapid Storage Technology Option ROMユーティリティを開くために必要です。RAIDの設定が完了したら必要に応じて「Launch CSM」= [Disabled] へ設定を変更可能です。

Intel® Rapid Storage Technology Option ROM ユーティリティ

Intel® Rapid Storage Technology Option ROMユーティリティを開く

1. システムの電源をオンにします。
2. POST時に<Ctrl + I> を押し、メインメニューを開きます。

注: BIOSで「Launch CSM」= [Enabled] の設定を実施していない場合、<Ctrl + I>を押してもIntel Rapid Storage Technology Option ROMユーティリティは開けません。


Intel(R) Rapid Storage Technology - Option ROM - v10.5.1.1070
Copyright(C) 2003-10 Intel Corporation. All Rights Reserved.
[MAIN MENU]
1. Create RAID Volume
2. Delete RAID Volume
3. Reset Disks to Non-RAID
4. Recovery Volume Options
5. Acceleration Options
6. Exit
[DISK/VOLUME INFORMATION]
RAID Volumes:
None defined.
Physical Devices:
Port Device Model Serial # Size Type/Status(Vol ID)
0 ST3160812AS 9LS0HJA4 149.0GB Non-RAID Disk
1 ST3160812AS 9LS0F4HL 149.0GB Non-RAID Disk
[↑↓]-Select
[ESC]-Exit
[ENTER]-Select Menu

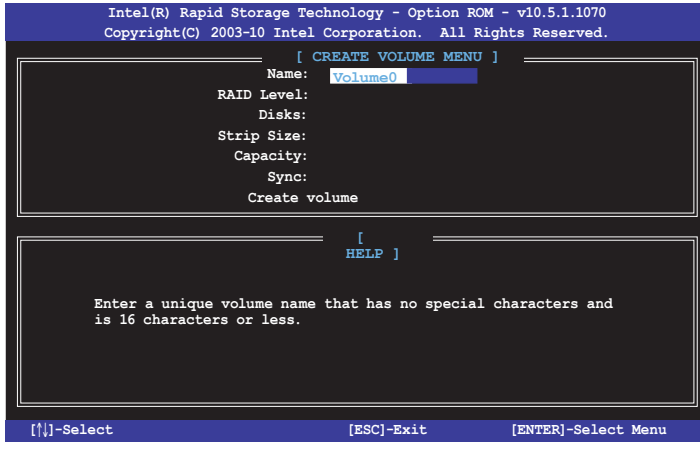
メニューを選択する際は画面の下に表示されるナビゲーションキーを使用します。

注: 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。

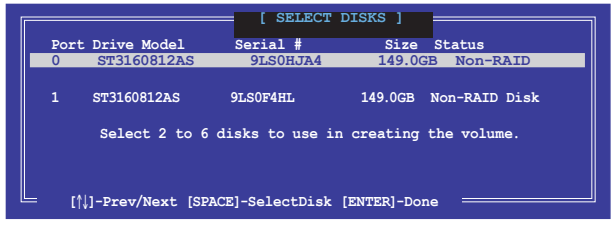
RAIDボリュームを作成する

RAIDセットを作成する

1. ユーティリティメニューから「**1. Create RAID Volume**」を選択し、<Enter>を押します。続いて次のような画面が表示されます。



2. RAIDボリュームを入力し、<Enter>を押します。
3. 「**RAID Level**」の項目がハイライト表示されたら、カーソルキーで作成するRAIDモードを選択し、<Enter>を押します。
4. 「**Disks**」の項目がハイライト表示されたら<Enter> を押し、RAIDに使用する記憶装置を選択します。続いて次のような画面が表示されます。



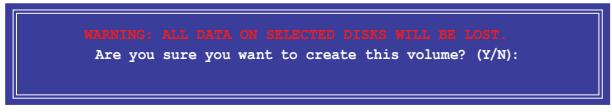
5. カーソルキーでドライブをハイライト表示させ、<Space> を押して選択します。小さな三角のマークが選択したドライブを表示しています。設定を確認したら<Enter>を押します。

6. RAID 0を構築する場合は、カーソルキーでRAIDアレイのストライプのサイズを選択し、<Enter>を押します。設定可能な値は4 KB～128 KB です。

注: サーバーには低めの値、オーディオ、サウンドなどの編集用のマルチメディアコンピュータシステムには高めの値をお勧めします。

7. 「**Capacity**」の項目を選択し、希望のRAIDボリューム容量を入力し <Enter> を押します。デフォルト設定値は許容最大値です。

8. 「**Create Volume**」の項目を選択し、<Enter> を押します。続いて次のような警告メッセージが表示されます。



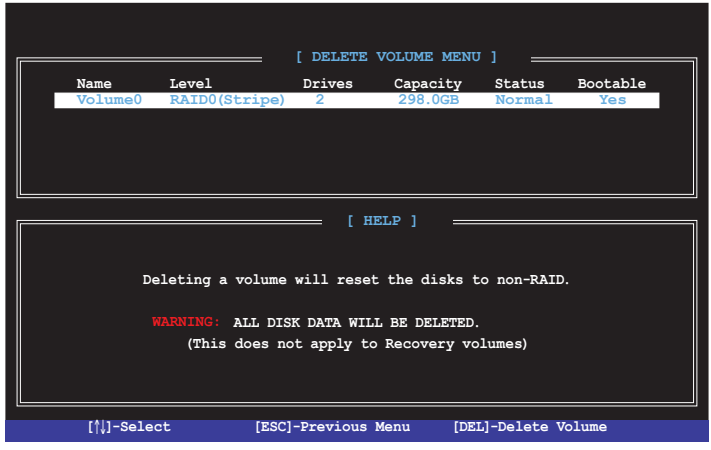
9. RAIDボリュームを作成し、メインメニューに戻る場合は <Y> を、「**CREATE VOLUME**」メニューに戻る場合は <N> を押してください。

RAIDセットを削除する

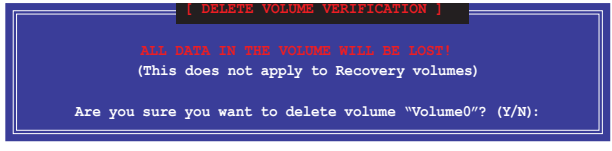
注: RAIDセットを削除すると記憶装置内のデータは全て削除されます。ご注意ください。

手順

1. ユーティリティメニューから「**2. Delete RAID Volume**」を選択し <Enter> を押します。続いて次のような画面が表示されます。



2. カーソルキーで削除するRAIDセットを選択し、<Del> を押します。続いて次のような警告メッセージが表示されます。



3. RAIDボリュームを削除し、メインメニューに戻る場合は <Y> を、「**DELETE VOLUME**」に戻る場合は <N> を押してください。

Intel® Rapid Storage Technology Option ROM ユーティリティを閉じる

手順

1. ユーティリティメニューから「**6. Exit**」を選択し <Enter> を押します。続いて次のような警告メッセージが表示されます。

2. ユーティリティを閉じるには <Y> を、ユーティリティメニューに戻るには<N> を押します。

付録

安全上の注意

大切なデータを守り、安全に快適にご使用いただくためのヒントを記載しました。本製品の使用方法に関する記載と併せてお読みください。

システムをセットアップする

- 本機を使用する前に、本マニュアルに記載の説明及び指示を全て読み、それに従ってください。
- 湿気のある場所および熱を発する熱源のそばで本機を使用しないでください。
- 設置する際は安定した水平面に設置してください。
- ケースの開口部は通気孔です。紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔を塞がないようにしてください。設置の際は、本体と壁などの間にスペースを空けて設置してください。また、通気孔に物を入れる等の行為はお止めください。
- 本機は5° ～35℃の周辺温度でご使用ください。
- 延長コードを使用する際は、接続した全てのデバイスの定格電流の総量が、延長コードの定格電流を超過しないようにしてください。

使用中のお手入れ

- 電源コードを踏まないでください。また、物を乗せないでください。
- 液体・雨・湿気を避けてください。
- 本機のお手入れの際は、電源を切りACアダプターを取り外してください。
- 以下のような技術的な問題が発生した場合は電源コードを抜き、公認の販売代理店あるいはコールセンターにご相談ください。
  - 電源コード/プラグが破損している。
  - 本機内部に液体が入った。
  - 本マニュアルの指示通りに操作してもシステムが正常に動作しない。
  - 本機が落下した、またはキャビネットが破損した。
  - システムのパフォーマンスに異変が生じた。

リチウムバッテリーに付いての警告

警告: バッテリーの交換は正しく行わないと破裂の原因となります。バッテリーは製造元が指定するもの、またはそれに相当するものをご使用ください。バッテリー廃棄の際は、製造元の指示に従ってください。

本機やバッテリー（該当する場合）を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。なお、本製品は水銀ボタン電池を含む電子機器です。本製品を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

ご注意

REACH（原文）

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorization, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we publish the chemical substances in our products at ASUS REACH website at **http://csr.asus.com/english/REACH.htm**

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

筐体のコーティングについて

重要: 感電などを防ぐため、本機は絶縁処理が施されている筐体を使用しています（入出力ポート搭載部分を除く）。

Federal Communications Commission Statement (原文)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to

radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

CAUTION: Any changes or modifications not expressly approved by the grantee of this device could void the user's authority to operate the equipment.

RF exposure warning

This equipment must be installed and operated in accordance with provided instructions and the antenna(s) used for this transmitter must be installed to provide a separation distance of at least 20 cm from all persons and must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter. End-users and installers must be provide with antenna installation instructions and transmitter operating conditions for satisfying RF exposure compliance.

Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility according to [EN 301 489-1] & [EN 301 489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2]

France Restricted Wireless Frequency Bands

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz

> **NOTE:** Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: On private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01	Ain	02	Aisne	03	Allier
05	Hautes Alpes	08	Ardennes	09	Ariège
11	Aude	12	Aveyron	16	Charente
24	Dordogne	25	Doubs	26	Drôme
32	Gers	36	Indre	37	Indre et Loire
41	Loir et Cher	45	Loiret	50	Manche
55	Meuse	58	Nièvre	59	Nord
60	Oise	61	Orne	63	Puy du Dôme
64	Pyrénées Atlantique	66	Pyrénées Orientales	67	Bas Rhin
70	Haute Saône	71	Saône et Loire	75	Paris
82	Tarn et Garonne	84	Vaucluse	88	Vosges
89	Yonne	90	Territoire de Belfort	94	Val de Marne

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.art-telecom.fr)

NOTE: Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

Canadian Department of Communications Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

IC Radiation Exposure Statement for Canada

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with IC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause interference and
- This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

CE Mark Warning

CE

CE marking for devices without wireless LAN/Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC "Electromagnetic compatibility" and 2006/95/EC "Low voltage directive".

CE !

CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

Wireless Operation Channel for Different Domains

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

ENERGY STAR complied product

ENERGY STAR is a joint program of the U.S. Environmental Protection Agency and the U.S. Department of Energy helping us all save money and protect the environment through energy efficient products and practices.

All ASUS products with the ENERGY STAR logo comply with the ENERGY STAR standard, and the power management feature is enabled by default. The monitor and computer are automatically set to sleep after 10 and 30 minutes of user inactivity. To wake your computer, click the mouse or press any key on the keyboard.

Please visit http://www.energy.gov/powermanagement for detail information on power management and its benefits to the environment. In addition, please visit http://www.energystar.gov for detail information on the ENERGY STAR joint program.

NOTE: Energy Star is NOT supported on FreeDOS and Linux-based products.

ASUSコンタクトインフォメーション

ASUSTeK COMPUTER INC.

住所	15 Li-Te Road, Peitou, Taipei, Taiwan 11259
電話	+886-2-2894-3447
ファックス	+886-2-2890-7798
電子メール	info@asus.com.tw
Webサイト	www.asus.com.com/

テクニカルサポート

電話	+86-21-38429911
ファックス	+86-21-5866-8722, ext. 9101#
オンラインサポート	http://www.asus.com/tw/support/

ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

住所	800 Corporate Way, Fremont, CA 94539, USA
電話	+1-510-739-3777
ファックス	+1-510-608-4555
Webサイト	http://www.asus.com/us/

テクニカルサポート

サポートファックス	+1-812-284-0883
電話	+1-812-282-2787
オンラインサポート	http://www.service.asus.com/

ASUS COMPUTER GmbH (ドイツ/オーストリア)

住所	Harkort Str. 21-23, D-40880 Ratingen, Germany
ファックス	+49-2102-959911
Webサイト	http://www.asus.com/de
Online contact	http://eu-rma.asus.com/sales

テクニカルサポート

電話	+49-1805-010923*
サポートファックス	+49-2102-9599-11
オンラインサポート	http://www.asus.com/de/support/

Manufacturer	ASUSTeK Computer Inc.	
	Tel:	+886-2-2894-3447
	Address:	No. 150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Authorised representative in Europe	ASUSTeK Computer GmbH	
	Address:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN, GERMANY

EC Declaration of Conformity

We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTeK COMPUTER INC.
Address:	4F, No. 150, LI-TE Rd., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	**VivoPC**
Model name :	**VC62B**

conform with the essential requirements of the following directives:

☒2004/108/EC-EMC Directive

☒ EN 55022:2010+AC:2011	☒ EN 55024:2010
☒ EN 61000-3-2:2006+A2:2009	☒ EN 61000-3-3:2008
☐ EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	☐ EN 55020:2007+A11:2011

☒1999/5/EC-R&TTE Directive

☒ EN 300 328 V1.8.1(2012-06)	☒ EN 301 489-1 V1.9.2(2011-09)
☐ EN 300 440-1 V1.6.1(2010-08)	☐ EN 301 489-3 V1.4.1(2002-08)
☐ EN 300 440-2 V1.4.1(2010-08)	☐ EN 301 489-4 V1.4.1(2009-05)
☐ EN 301 511 V9.0.2(2003-03)	☐ EN 301 489-7 V1.3.1(2005-11)
☐ EN 301 908-1 V5.2.1(2011-05)	☐ EN 301 489-9 V1.4.1(2007-11)
☐ EN 301 908-2 V5.2.1(2011-07)	☒ EN 301 489-17 V2.2.1(2012-09)
☒ EN 301 893 V1.6.1(2011-11)	☐ EN 301 489-24 V1.5.1(2010-09)
☐ EN 302 544-2 V1.1.1(2009-01)	☐ EN 302 326-2 V1.2.2(2007-06)
☐ EN 302 623 V1.1.1(2009-01)	☐ EN 302 326-3 V1.3.1(2007-09)
☐ EN 50360:2001	☐ EN 301 357-2 V1.4.1(2008-11)
☐ EN 62479:2010	☐ EN 302 291-1 V1.1.1(2005-07)
☐ EN 50385:2002	☐ EN 302 291-2 V1.1.1(2005-07)
☐ EN 62311:2008	

☒2006/95/EC-LVD Directive

☒ EN 60950-1 / A12:2011	☐ EN 60065:2002 / A12:2011

☒2009/125/EC-ErP Directive

☐ Regulation (EC) No. 1275/2008	☒ Regulation (EC) No. 278/2009
☐ Regulation (EC) No. 642/2009	☒ Regulation (EC) No. 617/2013

☒2011/65/EU-RoHS Directive Ver. 140331

☒CE marking

(EC conformity marking)

Position : **CEO**

Name : **Jerry Shen**

Signature : _____

Declaration Date: 15/09/2014

Year to begin affixing CE marking: 2014

EC Declaration of Conformity

We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTeK COMPUTER INC.
Address:	4F, No. 150, LI-TE Rd., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	**VivoPC**
Model name :	**VM42,VM62,VM62N**

conform with the essential requirements of the following directives:

☒2004/108/EC-EMC Directive

☒ EN 55022:2010+AC:2011	☒ EN 55024:2010
☒ EN 61000-3-2:2006+A2:2009	☒ EN 61000-3-3:2008
☐ EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	☐ EN 55020:2007+A11:2011

☒1999/5/EC-R&TTE Directive

☒ EN 300 328 V1.8.1(2012-06)	☒ EN 301 489-1 V1.9.2(2011-09)
☐ EN 300 440-1 V1.6.1(2010-08)	☐ EN 301 489-3 V1.4.1(2002-08)
☐ EN 300 440-2 V1.4.1(2010-08)	☐ EN 301 489-4 V1.4.1(2009-05)
☐ EN 301 511 V9.0.2(2003-03)	☐ EN 301 489-7 V1.3.1(2005-11)
☐ EN 301 908-1 V5.2.1(2011-05)	☐ EN 301 489-9 V1.4.1(2007-11)
☐ EN 301 908-2 V5.2.1(2011-07)	☒ EN 301 489-17 V2.2.1(2012-09)
☒ EN 301 893 V1.6.1(2011-11)	☐ EN 301 489-24 V1.5.1(2010-09)
☐ EN 302 544-2 V1.1.1(2009-01)	☐ EN 302 326-2 V1.2.2(2007-06)
☐ EN 302 623 V1.1.1(2009-01)	☐ EN 302 326-3 V1.3.1(2007-09)
☐ EN 50360:2001	☐ EN 301 357-2 V1.4.1(2008-11)
☐ EN 62479:2010	☐ EN 302 291-1 V1.1.1(2005-07)
☐ EN 50385:2002	☐ EN 302 291-2 V1.1.1(2005-07)
☐ EN 62311:2008	

☒2006/95/EC-LVD Directive

☒ EN 60950-1 / A12:2011	☐ EN 60065:2002 / A12:2011

☒2009/125/EC-ErP Directive

☒ Regulation (EC) No. 1275/2008	☒ Regulation (EC) No. 278/2009
☐ Regulation (EC) No. 642/2009	☒ Regulation (EC) No. 617/2013

☒2011/65/EU-RoHS Directive Ver. 140331

☒CE marking

(EC conformity marking)

Position : **CEO**

Name : **Jerry Shen**

Signature : _____

Declaration Date: 25/06/2014

Year to begin affixing CE marking: 2014

DECLARATION OF CONFORMITY

Per FCC Part 2 Section 2. 1077(a)

Responsible Party Name: **Asus Computer International**

Address: **800 Corporate Way, Fremont, CA 94539.**

Phone/Fax No: **(510)739-3777/(510)608-4555**

hereby declares that the product

Product Name : VivoPC

Model Number : VC62B

Conforms to the following specifications:

☒ FCC Part 15, Subpart B, Unintentional Radiators

Supplementary Information:

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Representative Person's Name : **Steve Chang / President**

Signature :

Date : **Sep. 15, 2014**

Ver. 140331

DECLARATION OF CONFORMITY

Per FCC Part 2 Section 2. 1077(a)

Responsible Party Name: **Asus Computer International**

Address: **800 Corporate Way, Fremont, CA 94539.**

Phone/Fax No: **(510)739-3777/(510)608-4555**

hereby declares that the product

Product Name : VivoPC

Model Number : VM42,VM62,VM62N

Conforms to the following specifications:

☒ FCC Part 15, Subpart B, Unintentional Radiators

Supplementary Information:

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Representative Person's Name : **Steve Chang / President**

Signature :

Date : **Jun. 25, 2014**

Ver. 140331